

# 大学院単位認定

この公開講座・セミナー・シンポジウム等は大学院医学研究科の単位認定対象となっております。単位認定の条件や対象科目等は下記をご確認ください。

## 単位認定条件

大学院生の方は、受講後、「出席票」を教務課(大学院担当)までご提出ください。  
出席票は、履修管理システムからダウンロードすることができます。

### 【履修管理システム】

博士課程 : <http://lms.juntendo.ac.jp/>

修士課程 : <http://mst.juntendo.ac.jp/>

## 認定科目

### 【博士課程】

**Current Topics** ※必修「大学院特別講義」に振り替えることはできません。

### 【修士課程(医科学コース)】

選択科目「**大学院セミナー**」

順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所  
共催：順天堂大学大学院 医学研究科

# 第18回環境医学研究所 プロジェクト研究報告会

(ポスター発表会)

1. 2020年度環境医学研究所  
プロジェクト研究報告

(タイトル番号 1~14)

2. 2020年度環境医学研究所  
研究成果報告

(タイトル番号 15~26)

2021年5月28日(金)

時間：18:00~20:00

場所：本郷・お茶の水キャンパス

10号館1階 105カンファレンスルーム



# 第18回環境医学研究所 プロジェクト研究報告会 発表タイトル

2021年5月28日（金） 開始18:00 終了20:00

No.1~14 2020年度環境医学研究所 プロジェクト研究報告			/ No.15~26 2020年度環境医学研究所 研究成果報告		
1	秋葉久弥	遊離型TIM-4の検出・機能解析と病態的意義の検討	14	吉原利典	レニン・アンジオテンシン系を介した性別特異的な骨格筋萎縮制御機構の解明
2	糸魚川善昭	酸化ストレスによる腱板変性と腱板筋の伸張性の変化の、超音波剪断波エラストグラフィーおよびMRエラストグラフィーによる定量評価	15	奥田真帆	骨髄増殖性腫瘍における腫瘍性巨核球に特異的な転写制御ネットワークの解明
3	浦 礼子	男性におけるKDM5D欠失陽性癌の臨床病理学的解析と発症因子の特定	16	片岡裕子	Investigation of the effects of anti-connective tissue growth factor (CTGF) monoclonal antibody in mice models of systemic sclerosis
4	大倉英浩	テラーメイド抗脳腫瘍抗体を用いた新たな治療戦略の開発	17	鎌田弥生	アトピー性皮膚炎におけるセマフォリン3Aの発現抑制機序の解明
5	佐伯和子	食餌誘導性熱産生におけるロイコトリエンA4水解酵素の役割の解析	18	古宮（須山）栄利子	末梢組織におけるオピオイドによる痒覚過敏機構の解明
6	佐伯春美	タモキシフェン誘発子宮内膜癌におけるミスマッチ修復異常とエストロゲン受容体	19	鶴町宗大	皮膚の内因性老化におけるプロテアーゼとそのインヒビターの役割の解明
7	坂入伯駿	異種GPCR間相互作用に着目した新たな痒み発症メカニズムの解明	20	外山扇雅	皮膚バリア機能の脆弱化による制御性T細胞の動態とアラミン分子IL-33の役割の解明
8	城 愛理	オメガ3脂肪酸がIgA腎症病態モデルにおける糖鎖不全IgA産生と腎障害に及ぼす影響の解明	21	中山仁志	CD14を介した自然免疫応答はGPI構造とスフィンゴ糖脂質との相互作用により制御される
9	杉谷善信	Brn転写因子の変異によるPsychosis様行動異常の発症機序とストレスによる症状改善のメカニズム	22	花房 慶	ヒトマクロファージにおける免疫応答制御と極長鎖脂肪酸鎖を含むスフィンゴ脂質とその代謝産物の関係性について
10	千葉麻子	ループス病態における核酸受容体経路の役割の解明	23	早川国宏	全身性エリテマトーデスの遺伝的素因はイミキモド誘導ループス腎炎を増悪させる
11	能登大介	腸内環境変動によるオリゴデンドロサイト前駆細胞分化調節機構の解明	24	本田耕太郎	痒み-搔破ループ志向性の行動学的究明
12	松田 彰	細菌とウイルス感染を模した刺激下におけるマウスアレルギー性角結膜炎モデルの樹立	25	大和屋健二	卵管液性因子の不全がもたらす初期胚発生異常
13	村越真紀	環境の変化に伴う腸内細菌と糖尿病性腎臓病の病勢の変化に関する検討	26	横山紀子	HL-60 細胞の分化及びアポトーシス誘導における膜PtdGlcマイクロドメインの役割

討論時間 奇数 : 18:00~19:00 / 偶数 : 19:00~20:00